

報告書〔3〕分析結果及びフローシート

1. 土壌試料(3.水銀)

分析実施機関名		機関コード		国際的な認証の取得 注1)	1. ISO9001~9003 2. ISO14001 3. ISO/IEC 17025 (カ1'25) 4. なし
分析主担当者名		分析主担当者の経験年数	年	分析主担当者の実績(試料数)	検体

注1)複数回答可

分析結果 (mg/kg) 注2)		
1回目	2回目	3回目

分析開始日	月 日
分析終了日	月 日

注2)3回の分析結果を有効数字3桁で記入する。なお、一旦受領した結果については、訂正があっても受け付けませんので、記入間違いや単位間違い等に注意してください。

<硝酸・過マンガン酸カリウム還流分解法>
試料の適量
硝酸(1+1)50ml
加熱
過マンガン酸カリウム溶液(3%)20ml
加熱
尿素溶液(10%)10ml
塩化トリロキシルアンモニウム溶液(20%)滴加
ろ過 G F P
ろ液・洗液
水
200mlとする
(試験溶液)
硫酸(1+1)10ml
塩化すず()溶液10ml
還元気化原子吸光法

<硝酸・硫酸・過マンガン酸カリウム分解法>
試料の適量
水
約50mlとする
硝酸20ml
硫酸(1+1)20ml
過マンガン酸カリウム溶液(3%)20ml
放置
ペルオキシ二硫酸カリウム溶液(5%)10ml
加熱 約95 水浴中 2時間
尿素溶液(10%)10ml
塩化トリロキシルアンモニウム溶液(20%)滴加
ろ過 G F P
ろ液・洗液
水
200mlとする
(試験溶液)
硫酸(1+1)10ml
塩化すず()溶液10ml
還元気化原子吸光法

<硝酸・塩化ナトリウム分解法>
試料の適量
硝酸(1+1)90ml
塩化ナトリウム(20%)20ml
加熱 約95 水浴中 2時間
ろ過 G F P
ろ液・洗液
水
200mlとする
(試験溶液)
硫酸(1+1)10ml
塩化すず()溶液10ml
還元気化原子吸光法

<分析法等>

分析法	1. 硝酸・過マンガン酸カリウム還流分解-還元気化原子吸光法 2. 硝酸・硫酸・過マンガン酸カリウム分解-還元気化原子吸光法 3. 硝酸・塩化ナトリウム分解-還元気化原子吸光法 4. その他()
測定波長	()nm

<試験溶液の調製>

試料の分取量	()ml
硝酸・過マンガン酸カリウム還流分解法 注3)	硝酸(1+1)()ml 過マンガン酸カリウム溶液(3%)()ml
硝酸・硫酸・過マンガン酸カリウム分解法 注3)	硝酸()ml 硫酸(1+1)()ml 過マンガン酸カリウム溶液(3%)()ml ペルオキシ二硫酸カリウム溶液(5%)()ml
硝酸・塩化ナトリウム分解法 注3)	硝酸(1+1)()ml 塩化ナトリウム溶液(20%)()ml
試験溶液の量(定容量)	()ml

注3)使用していない場合0「ゼロ」を記入する。

<測定>

方式	1. 密閉循環式 2. 開放送気式 3. その他()
----	--------------------------------

<検量線の作成等>

定量方法	1. 検量線法 2. 標準添加法
検量線の作成	作成点数() 濃度範囲()~() 注4) 単位 1. 量(μg) 2. 濃度(mg/l) 最高濃度の指示値() 空試験値(指示値)()
試料の指示値	()
検出限界 注5)	()mg/kg

注4)測定溶液中の量又は濃度で示す。

注5)試料中の濃度で示す。

<分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点>

試験溶液の調製について	-----
測定操作について	-----
分析全般について	-----

<計算式>

--	--